

大野松雄生誕祭 音の世界 Forever

Feat. 大友良英, Koji Nakamura, duenn & KT

日時 = 2023年6月17日(土) 17:00開演 (16:30開場)

会場 = 京都クラブメトロ

タイムテーブル

| | | |
|-------|--------------|------------------------------------|
| 17:00 | 開演 | Team OHNO によるパフォーマンス |
| 17:15 | TALK | 大野松雄にまつわるエピソードを映像を交えながらゲストとともに語ります |
| 18:45 | LIVE | Koji Nakamura / duenn / KT |
| 19:15 | LIVE | 大友良英 |
| 19:45 | LIVE session | ALL CAST |
| 20:00 | 終演 | |

チケット情報

チケット：5,000円 + 1ドリンク600円

・ワンドリンク制です。
ドリンク代はチケット代とは別に当日METRO受付でお支払いください。

〈取扱い〉 **PassMarket**

大野松雄 生誕祭「音の世界 Forever」

<https://passmarket.yahoo.co.jp/>



配信チケット：2,000円

・配信チケットは左記チケットとは取り扱いが異なります。ご注意ください。

〈取扱い〉 **有料配信チケット by ZAIKO**

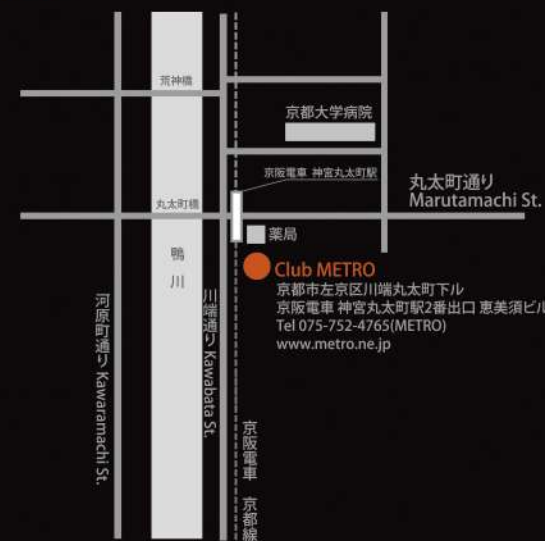
販売期間：

2023年5月11日(木)10:00-2023年6月20日(火)20:00

<https://metro-kyoto.zaiko.io/e/MATSUO-OHNO>



アクセス



Club METRO
京都市左京区川端丸太町下ル
京阪電車 神宮丸太町駅2番出口 恵美須ビルBF
Tel 075-752-4765(METRO)
www.metro.ne.jp

スタッフ | 西原多朱, 小林秀野, 遠藤正章, 横地由起子 オンライン配信 | 藤原誠有 チケット | 高橋麻由美
撮影 | 井上嘉和 機材協力 | 川島オーディオサービス
SPECIAL THANKS | 林薫, 伊達聡一郎, 玉井藍, 田中俊輔, 間居 吉田や, 大野家

詳細はウェブページをご確認ください <https://brand-newday.jp/information/>

Photo: ©Yoshikazu Inoue

大野松雄生誕祭
Matsuo Ohno Birthday Festival



音の世界 Forever
Feat. 大友良英, Koji Nakamura, duenn & KT

2023.6.17 sat 17:00start(16:30open)
at Club METRO

企画：Team OHNO 主催：Brand new day

大野松雄と幾度も共演したミュージシャンとともに「音の世界」を堪能する!

大野松雄



大野松雄 | 1930年東京・神田生まれ。映画や黎明期のテレビで音響制作に携わり音響デザイナーとしての地位を固める。日本初の国産アニメーション「鉄腕アトム」では新しい音響表現を作り出し後進に大きな影響を与えた。その後数々の「万博」、科学映画他幅広いジャンルで活動。90年代より京都へ居を移し、音楽家レイ・ハラカミ

由良泰人



由良泰人 | 大野さんとは30年のお茶飲み友達。2005年より社会福祉法人大木会もみじあざみ寮生劇のお手伝いが始まり、2009年よりなせがライブのサポートをするようになる。映像作家として実写やCG、アニメーションを取り入れた映像表現の作品を90年ごろより制作。主な発表としてヨーロッパ・メディアアート・フェスティバル(ドイツ)、オーバーハウゼン国際短編映画祭(ドイツ)、EXIS(韓国、AVID賞受賞)、WROメディアアート・ビエンナーレ(ポーランド)、KIRIN CONTEMPORARY AWARD(奨励賞受賞)、第5回テクノアート大賞(大賞受賞)ほか。個人による映像を紹介する公募上映展「VIDEO PARTY」を運営し、国内外で映像を通じた交流を行なっている。

Team OHNO

のアルバム「レッドカープの思い出」では史上最高齢のリミキサーとして参加。2010年には半生を描いたドキュメンタリー映画「アトムの足音が聞こえる」が公開された。2014年、大病を克服し京都・龍谷大学アバンティンホール(現龍谷大学響都ホール)をゲストに迎えて、「音の個展」『大野松雄「音の世界」』を開催。以後、若い世代との交流を多く持ち、即興演奏等活発に活動。またライフワークとして知的障がい者施設、社会福祉法人大木会もみじ・あざみ寮(滋賀県)に深く関わり、記録映画の制作から寮生による創作劇での音響制作など、公私を超えた関係は40年以上続いた。東京国際アニメフェア2009にて「第5回功労賞」受賞。2022年10月、福岡・博多での『サウンドデザインの歴史「オトのはじまりを紡ぐ展」』が最後のステージとなった。2022年12月19日、最期まで現役を貫いたその生涯を閉じる。

大野松雄 生誕祭 音の世界

Forever

●出演 — 大友良英 / Koji Nakamura / duenn / KT Team OHNO : RUBYORLA / 由良泰人

大友良英



大友良英 | 1959生まれ。映画やテレビの音楽を数多く作りつつ世界各地のノイズや即興の現場がホームの音楽家。ギタリスト、ターンテーブル奏者。美術と音楽の間のような作品から、一般参加のプロジェクトも多数。長年にわたりアジア各地の音楽によるネットワークづくりにも奔走。震災後は故郷の福島でも活動。2022年はドラマ「エルピス」などの音楽を担当、また大友良英スペシャル・ビッグバンド6年ぶりのアルバム「Stone Stone Stone」をリリースしている。現在ソロアルバムのシリーズを準備中。

Koji Nakamura



Koji Nakamura | 1995年地元青森にてバンド「スーパーカー」を結成し2005年解散。その後「ILL」として活動する。現在はバンド「LAMA」(フルカワミキ、田淵ひさ子、牛尾憲輔)や、ダークロックユニット「MUGAMICHILL」(ナスノミツル、中村達也、ナカコー)そして『Koji Nakamura』としてや連続TVドラマ「潤一」・「WOWOWオリジナルドラマアフロ田中」等のメインテーマと劇伴音楽も担当している。その他、CM曲やアート展、携帯端末の操作音などの楽曲制作、Eテレの子供番組や国民的アイドルの楽曲提供等活動は多岐にわたる。そして2017年よりduennとともに、アンビエントに特化したプロジェクト『HARDCORE AMBIENCE』も主宰。ある場所や空間に寄り添える音楽を言及・指向したアンビエント音楽を映像やLIVEなどで提案・発表し多数の美術館や芸術家とコラボしている。

duenn

duenn | 福岡在住。エレクトロニクス / コンポーザー。必要最小限の機材でミニマルな作品を制作。Koji Nakamuraとのサウンドプロジェクト Hardcore Ambienceとして、東京都写真美術館、十和田市現代美術館、世田谷美術館、大分県立美術館(OPAM)、岡山芸術交流2022など美術と音楽のフィールドを循環しながら活動中。



KT

2023.6.17
at Club METRO